



●平成28年2月号 ●No.112 ●発行／館山市議会 ●〒294-8601館山市北条1145-1 ●電話0470-22-3527
議会メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp



平成28年館山市成人式

館山市マスコットキャラクター・タッペエ © studio crocodile・館山市

12月11日は、各議案について質疑を行い、その後、所管の常任委員会に審査を付託しました。

最終日(12月18日)は、各委員会の委員長が、委員会での議案等審査の経過及び結果を報告した後、質疑、討論、採決を行いました。

12月定例会において、会議初日(12月2日)は、会期を17日間と決定した後、市長から各議案について提案理由の説明が行われました。

12月7日から8日にかけては、10人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考えをただしました。

12月定例会市議会は、12月2日から12月18日までの会期17日間にわたって開かれ、市長から提案された13議案、議会から提出された2議案が原案どおり可決・同意されました。

平成27年12月定例会市議会
館山市基本構想を定めることについてなどを議決
平成27年第3回臨時市議会(11月12日開催)
平成27年度館山市一般会計補正予算を議決
◎議会報告会の概要を掲載しました

■ 主な内容 ■

- ★議案概要と委員会審査 2~4頁
- ★議会報告会の概要 5頁
- ★一般質問 6~11頁
- ★議決結果 12頁

続いて、追加議案の審議及び委員会提出の2件の議案の審議を行い、閉会しました。

昨年10月31日に実施された議会報告会の概要を掲載しました。

詳しくは5ページをご覧ください。

12月定例会に提案された議案と委員会の主な審査内容を紹介します。

議案第70号 館山市公告式条例の一部を改正する条例の制定について 掲示場の位置を変更しようとするもの。

総務委員会の審査

(委員長 石井敬之議員)

掲示板を移動するのとどこに移動するのかわからないところ、本館1階のロビーを予定している、との説明がありました。



新しく設置された掲示板

議案第71号 館山市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について 館山市総合計画審議会を、館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進組織と位置付け、館山市総合計画と合わせた進捗状況の確認及び効果検証を行い、PDCAサイクルによる取り組みの改善と効果的な実施に努めるため、担任する事

務、組織並びに委員の構成及び定数について改正しようとするもの。

総務委員会の審査

館山市総合計画審議会の委員に行政関係者、金融関係者、労働関係者及び報道関係者を加えることとしたがそれはなぜかと聞いたところ、当該審議会の担任する事務に館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の審議を加えることとしたためである、との説明がありました。

議案第72号 館山市市税条例等の一部を改正する条例の制定について 地方税法の一部改正に伴い、館山市市税条例等の一部改正を行うおとすもの。

総務委員会の審査

今回の改正は市民生活に影響を与えるものではないのかと聞いたところ、納税者の負担の軽減を図るものである、との説明がありました。

議案第73号 館山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定について

いわゆる番号法の施行に伴い、同法第9条第2項の規定による個人番号の利用及び第19条第9項の規定による特定個人情報提供に関する必要な事項を定めようとするもの。

総務委員会の審査

この条例は法律に基づくものであるが、条例の内容は全国的に同じものになるのかと聞いたところ、国から例が示され全国的にこの例にならった形で制定している、との説明がありました。

議案第74号 館山市基本構想を定めることについて 平成12年に策定した『基本構想』の計画期間が、本年度で終了するので、新たに平成28年度から平成37年度までの10年間の展望した『第4次館山市総合計画』の『基本構想』を定めることについて、館山市議会基本条例第14条第1項の規定に基づき、議会の議決を求めようとするもの。

総務委員会の審査

館山市の合計特殊出生率が千葉県で第1位になったのはどういう理由なのか分析しているかと聞いたところ、合計特殊出生率が高くなる時期と館山市が子育て支援事業を始

めた時期と関連性があり、当該事業が子どもを産みたいという気持ちに影響があったのではないかと考えている、との説明がありました。

議案第75号 損害賠償の額の決定及び和解について 平成27年5月に発生した、館山市立純真保育園における保育中の事故に関し、損害賠償についての協議が調ったので、その額の決定及び和解について、地方自治法の規定により、議会の議決を求めようとするもの。

総務委員会の審査

保育士が園児にけがをさせたとのことだが、そのけがは後遺症の残るものではないのかと聞いたところ、後遺障害の残存はないとの診断を得ている、との説明がありました。

議案第76号 市道路線の認定及び廃止について 市道3078号線外3路線を認定し、市道3075号線を廃止しようとするもの。

建設経済委員会の審査

(委員長 石井信重議員) 今回新たに認定される市道4路線により、従来から認定されている市道3016、3

018、3019号線が重なることになるが、これらの部分の整理はどうなるのかと聞いたところ、路線が重なる部分についての取り扱いについては船形バイパスが完成し、供用開始するまでは生活道路として使用されていることから廃止は考えていない、と説明がありました。

新しく認定する市道用地の買収は済んでいるのかと聞いたところ、こちらの用地については、市道路線認定をした後で税務署と協議を行い、税控除の措置をした後で用地買収に入るとの説明がありました。

議案第77号 平成27年度館山市一般会計補正予算(第5号) 8歳入歳出それぞれ8619万円を追加し、総額193億5299万1千円としようとするもの。

主要事項として防災備蓄倉庫整備事業、パソコン等購入費、自立支援医療費、過年度障害者自立支援給付費等国庫負担金返還金、過年度障害者医療費国庫負担金返還金、既存小規模介護施設等のスプリンクラー設備等整備事業、私立保育園

運営委託料、過年度保育所運営費返還金、過年度生活保護費国庫支出金返還金、コミュニティ医療推進活動支援補助金、コミュニティ医療推進基金、コミユニティ医療推進基金積立金、有害鳥獣対策事業、農地集積・集約化対策事業費補助金、農業経営多角化支援事業補助金、松くい虫防除委託料、市営50mプール及び市営25m温水プールの补水等による水道使用料、学校給食センター施設整備事業など。

総務委員会の審査

著作権管理等に係る委託料に関してダッペエの著作権について聞いたところ、著作権は館山市と作成者の株式会社スタジオクロコダイルが2分の1ずつもっている、との説明がありました。

私立保育園運営委託料に関して入園状況について聞いたところ、10月以降は0歳児、1歳児は入園が困難になっているが平成28年4月には受け入れが可能になると予測している、との説明がありました。学校給食センター施設整備事業に関して発注時期が遅れた理由を聞いたところ、労務単価、建設資材の高騰により基本計画を変更する必要が生じたためである、との説明が

ありました。

議案第78号 平成27年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第3号) Ⅱ歳入歳出

それぞれ4583万8千円を追加し、総額81億4168万9千円としようとするもの。主要事項として一般被保険者高額療養費、退職被保険者等高額療養費など

文教民生委員会の審査

(委員長 龍崎 滋議員)

「高額療養費」の補正額が多額になっているが、医療費が高い主な疾病は何か聞いたところ、がん、脳血管疾患、人工透析による特定疾病等である、との説明がありました。人工透析は糖尿病が原因のものが多いと思うが、「生活習慣病 予防事業に係る委託料」とは、がん、脳血管疾患、糖尿病等の予防事業と捉えてよいか聞いたところ、人工透析は糖尿病が原因のものが多いと聞いている。予防として、検診の他に、保健師で「糖尿病チーム」を構成し、重症化を防ぐための取り組みをしている。また脳血管疾患に対して、さまざまなデータを活用した「データヘルス計画」を作成しているところであり、

今後データに基づいた対策を進める予定である、との説明がありました。

議案第79号 平成27年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) Ⅱ債務

負担行為の補正として、基幹システム運用に係る委託料外2件の追加及び基幹システム運用に係る使用料及び委託料の変更をしようとするもの。

文教民生委員会の審査

「基幹システム運用に係る委託料」が増額となった理由について聞いたところ、当初の契約では、5〜6年前の見積り時期の対象者数で積算していたが、今回、直近で見直したことに増額となりました。

議案第80号 平成27年度館山市介護保険特別会計補正予算(第3号) Ⅱ債務負担行為

の補正として、基幹システム運用に係る委託料外2件の追加及び基幹システム運用に係る使用料及び委託料の変更をしようとするもの。

文教民生委員会の審査

介護家族用品購入費の対象

者と、対象用品について聞いたところ、対象者は要介護4または5の在宅高齢者で、市民税非課税世帯に属する方を介護している家族と、要介護3の在宅高齢者で、市民税非課税世帯に属する、寝たきり、または重度の認知症の方を、介護している家族である。

対象用品は、紙おむつ、尿とりパッドなどであり、支給額は1人あたり、要介護4または5で年額10万円まで、要介護3で年額6万円までとなつている、との説明がありました。

また、対象者数について聞いたところ、平成27年10月現在、登録者として利用している人は、要介護4または5で34名、要介護3で1名である、との説明がありました。

要介護3・4・5の認定者数は何人いるのか聞いたところ、27年10月末現在で、要介護3が387名、要介護4が331名、要介護5が277名である、との説明がありました。

これに対し、認定者数に対して補助の利用者数が少ないように見受けられる。補助の利用条件にあてはまる対象者が、平等に補助制度を利用する機会を持てるよう、制度の周知

に、よりいっそう努めてほしい、との意見がありました。

議案第81号 平成27年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第3号) Ⅱ債務負担

行為として、電気設備の保守点検等に係る委託料外3件の設定をしようとするもの。

建設経済委員会の審査

汚泥運搬のサイクルや量について聞いたところ、週1回、10トン車1台で運搬し、年間530トンで予算計上を考えている、との説明がありました。

汚泥の有効利用を考えたことはあるのかと聞いたところ、肥料として使用できるか検討したが、結果として植物が生育不良になった。肥料化には追加設備費用がかかること、処理量が500トンと少ないことから、現在では焼却処理という形で動いている、との説明がありました。

契約方法について聞いたところ、水質検査と汚泥運搬処分については指名競争入札、業務システムの方は負担金を管理するためのものなので、ソフトウエアを製作した会社との随意契約となる、との説明がありました。

【追加議案】

議案第82号 館山市教育委員会委員の任命について 館山市教育委員会委員中、1名の委員の任期が満了となるので、引き続き清本智美さんを任命しようとするもの。

請願第4号 鶴ヶ谷八幡神社に消火栓の整備を求める請願書について

文教民生委員会の審査
動議が提出され、「館山市内の文化財の維持・保存制度の拡充を求める決議」を本会議に提出することについての提案があり、全員一致をもって、文教民生委員会として発議案を提出するものと決しました。

請願第5号 防犯灯の維持・管理費の補助を求める請願

総務委員会の審査
慎重審査を尽くすため継続審査にすべきとの動議が出されましたが、賛成少数で否決されました。

討論では、本請願については、趣旨については理解するが、この案件については館山市域全体の共通する問題として、各地区区長、町内会長が苦慮しているところであり、一部地区

だけの請願を採択するのは議会の立場から公平性に欠けるのではないかとという視点から不採択とするものである。

しかしながら、防犯灯の維持管理、電気料の無料化については長年にわたり要望してきたところであり、館山市町内会連合会として請願されることを要望するとの討論がありました。(委員会では不採択でしたが、本会議では採択となりました。)

【議案提案議案】

発議案第10号 館山市内の文化財の維持・保存制度の拡充を求める決議 館山市内の文化財の修理、維持管理及び防災・防犯対策に要する費用の軽減を図るため、既存の補助制度の充実強化及びふるさと寄付金等を活用した新たな補助制度を設けることを求め、館山市議会として決議するもの。

館山市内の文化財の維持・保存制度の拡充を求める決議

館山市には、国指定の有形文化財である那古寺銅造千手観音立像や小網寺の梵鐘、県指定の有形文化財である手力雄神社本殿や那古寺本堂、市

指定有形文化財である鶴ヶ谷八幡宮本殿や洲崎神社本殿など、多くの貴重な文化財が存在している。

文化財は、我が国の歴史、文化などの正しい理解のため欠くことのできないものであり、将来の文化の向上発展の基礎をなすものであることを認識し、その保存が適切に行われなければならない。

しかし、現状、貴重な文化財の維持管理に関して、安全に保護し後世に引き継ぐことは所有者の個々の努力だけでは解決しがたい大きな課題となっている。

今議会に提出された鶴ヶ谷八幡神社に消火栓の整備を求める請願においても、鶴ヶ谷八幡宮は館山市を代表する文化財であり、館山市の歴史と地方創生の賑わいと、祭り文化及び観光資源としての重要な役割を担うことから、早期に消火栓を整備する必要があるところである。

現在、所有者等が管理や修理に要する費用を負担できないなど、特別の事情がある場合などには館山市文化財の保護に関する条例に基づく補助金制度があるが、多額の自己負担を伴う実態にある。

よって、館山市において、市内の貴重な文化財の維持管理及び保存のため、下記事項について措置されるよう強く要請する。

記

修理、維持管理及び防災・防犯対策に要する費用の軽減を図るため、既存の補助制度の充実強化及びふるさと寄付金等を活用した新たな補助制度を設けること。



安房国司祭やわたんまち

発議案第11号 教職員定数の充実のための予算確保に関する意見書

財務省から、平成36年度までに公立小中学校の教職員定数を約3万7千人削減するという方針が示されている。

この方針に対し、文部科

学省は反対の意向を示しているが、児童生徒数の減少により、方針のとおり一律に教職員を削減することになれば、日本の教職員の勤務環境の更なる悪化を進める結果になり得るものと懸念される。

政府が掲げる教育改革を実行するためには、教育現場の勤務環境改善とともに更なる教職員定数の充実を図る必要があると考えられることから、公立小中学校の教職員定数の充実のために必要な予算確保に努めることを関係機関に要望するため、意見書を提出するもの。

11月第3回臨時会に提案された議案を紹介します。

議案第69号 平成27年度館山市一般会計補正予算(第4号) 19歳入歳出それぞれ1998万9千円を追加し、総額192億6680万1千円にしようとするもの。

主要事項として、サイクルツーリズム推進実証実験委託事業、農産物等流通促進実証実験委託事業、ダンプ購入費、災害復旧事業など。

館山市議会第1回議会報告会の概要を掲載します。

館山市議会では、平成27年4月に議会基本条例を施行し、第10条に「議会は、市民への報告及び市民との意見交換の場として、議会報告会を行うものとする」との規定に基づき、住民意思の市政への反映及び審議・決定過程の説明責任を果たす目的で、同年10月31日(土)午前10時より市内3会場において、初の議会報告会を開催しました。

開催単位は年1回、開催場所は市内4中学校区の内の3中学校区で行い、4年間で4中学校区それぞれ3回実施する計画です。

報告会の内容は、班長あいさつ、議会報告(3つの常任委員会と決算特別委員会報告)、質疑応答、最後に市政全般をテーマとした意見交換会を行いました。

今回、各会場とも多くの質問や要望・意見等が出され、活発な議会報告会となりました。

ただし、議員への個人的な質問については、議会報告会が、議会での承認や決定を報告する場としているため、個人的な見解を求める質問や意見を

述べることは差し控えました。

【議会への意見】

- 1 議会中継の画像が悪いので、早期の改善を望む。
- 2 請願者が委員会で意見を述べる機会を設けるべき。
- 3 議会報告会が行われたことを評価する。現状、年1回とのことだが、2回やってほしい。
- 4 青木繁《海の幸》保存会で全国公開を行うが、議会としても協力してもらいたい。



青木繁「海の幸」記念碑

【行政への意見】

- 1 市長との懇談会を年2回やってもらえないか。
- 2 国道ぎわ歩道部分に出た木の枝を切ってほしい。
- 3 地区からの要望への対応等に時間がかかる。
- 4 房南小中一貫校の周知をさらに行ってほしい。
- 5 海・浜のルールブックを更に充実すべき。

- 6 景観条例を策定してはどうか。
- 7 草刈りや木の伐採で出た草木を再利用したらどうか。
- 8 空いている施設を活用し、独居老人が集う場所を作ってはどうか。
- 9 本館・4号館等、分散している庁舎を統合し、1か所で用が足りるようにしてほしい。
- 10 ふるさと納税を増やす対策をしてほしい。

【行政への質問】

- 1 マイナンバーのセキュリティ対策は大丈夫か。
 - 2 民生委員・保健推進員などのなり手不足への対策を教えてください。
 - 3 市役所に設置されたエレベーターの使用基準はあるか。
- 結びに
各班における議会報告会の内容は本稿(議会だより)では紙面の関係上、概略のみの報告とさせていただきます。初めての議会報告会でしたので、資料の用意や対応の不十分な面も反省点としてありましたが、今後充実した報告会となるよう工夫を重ねてまいります。

第1班(参加者数24名)



第1班 那古地区公民館

担当者

- (司会) 瀬能孝夫
- (班長・決算) 鈴木順子
- (総務) 石井敬之
- (文教民生) 龍崎 滋
- (建設経済) 石井信重
- (記録) 望月 昇

【議員名は右から写真順】

第2班(参加者数26名)



第2班 豊津ホール

担当者

- (司会) 本多成年
- (決算) 福岡信治

- (建設経済) 今井義明
- (文教民生) 太田 浩
- (総務・記録) 石井敏宏
- (班長) 本橋亮一

第3班(参加者数25名)



第3班 菜の花ホール

担当者

- (記録) 鈴木正一
- (建設経済) 内藤欽次
- (文教民生) 森 正一
- (総務) 室 厚美
- (班長・決算) 榎本祐三
- (司会) 吉田恵年

執行部への質問に対する回答、議会に対する事前質問、終了後に回収したアンケート結果等の詳細につきましては、2月中旬に、市議会のホームページ及び各地区公民館に配布予定の議会報告会のダイジェスト版に掲載する予定です。

一般質問

一般質問通告要旨

市政に関する一般質問は、12月7日と8日の2日間にわたり、次の10名の議員が行いました。議員別の質問要旨、分野別の主な質問と答弁は次のとおりです。(太字の質問は次ページ以降に掲載しています。)

	<p>室 厚 美</p> <p>①ふるさと納税（館山市の現状と他市の傾向との比較、取り組み方針と今後の課題、ふるさとチョイスの有効活用） ②観光資源としての布良地域への取り組み（観光の観点からの位置付け、布良海岸の海水浴場の指定） ③地域おこし協力隊（これまでの実績、制度の課題と今後の方針）</p>
	<p>内 藤 欽 次</p> <p>①避難道路の修理等（富崎地区の避難道路の一部破損部位の応急処置、市指定避難道路の保全・維持・管理） ②ごみ処理施設 ③防犯灯の維持管理費とLED化（防犯灯の数と維持管理費、防犯灯の維持管理費は市の負担とすべきではないか、防犯灯のエスコ事業によるLED化） ④陸上自衛隊木更津駐屯地の日米オスプレイの整備拠点化</p>
	<p>石 井 敬 之</p> <p>①館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略（人口減少問題に対する取り組み、地元で就職したいという希望をかなえるような施策、6次産業化の推進） ②超高齢化を迎えるにあたっての施策（介護士養成校の誘致等の取り組み、地域包括支援センターのあり方や支援の仕方）</p>
	<p>瀬 能 孝 夫</p> <p>①農水産業の振興（ワンストップ窓口の開設、農水産物の輸出戦略、遊休地の活用） ②首都直下型地震などの備え（自治体間による災害協定、住宅密集地における火災対策、事業継続計画（BCP）の現状及び今後の進展）</p>
	<p>鈴 木 順 子</p> <p>①地域医療（24時間救急医療体制の現状、かかりつけ医の取り組み） ②下水道事業縮小（縮小に至る背景と理由、当初計画から外れた地域への説明、住宅密集地の汚水対策、合併浄化槽への支援体制の強化） ③障がい者への就労支援（障がい者の就労場所状況、個々の対象者の就労希望） ④若潮マラソンの状況（グッズ販売の効果、ふるさと納税枠）</p>
	<p>石 井 敏 宏</p> <p>①映画・ドラマ等のロケの誘致 ②残土について（坂田の残土埋め立ての現状と今後の見込み、残土条例にある「土砂の混同の防止」の措置） ③市民からの口頭での要望への対応 ④予算編成過程の公開</p>
	<p>龍 崎 滋</p> <p>①館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標（漁港の利活用と船形漁港周辺の活性化策、農業の成長産業化支援の施策と担い手の育成、官民・広域連携によるまちづくりの推進） ②農業分野と福祉分野との「農福連携」による障害者の就労と地域農業の活性化 ③子供たちの「生きる力」を育てる起業家教育の導入</p>
	<p>森 正 一</p> <p>①子育て支援（子ども医療費の助成範囲拡大、季節性インフルエンザ予防接種ワクチンの助成、公設民営化された学童クラブの課題と対応） ②健康（寿命）増進のための施策（総合検診の受診率の向上、A B C検診の受診者拡大、ラジオ体操を行う環境整備） ③ごみステーションの管理・運用・環境美化（ごみステーションの管理、事業系ごみの排出） ④2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致</p>
	<p>鈴 木 正 一</p> <p>①農業振興（農業生産基盤の維持・保全、有害鳥獣対策） ②今後増えていく認知症と高齢者対策 ③平砂浦の活性化（魅力のアピール、無料バスの実験結果） ④マイナンバー（個人番号）</p>
	<p>石 井 信 重</p> <p>①海岸の利活用・利用者の利便性の向上（安心安全な館山の海水浴場の確保に関する条例の来年に向けての検討、年間を通じた海岸の利活用等） ②老朽危険空き家対策（モデル地区の実態調査の結果、「老朽危険空き家対策会議」の調査結果、使える空家の利活用） ③渚の駅たてやま商業施設棟</p>

※紙面の都合上、通告質問の要旨を掲載しています。詳細については、2月中旬ごろ図書館に配置予定の会議録、または館山市ホームページの会議録検索システムをご覧ください。

主な質問と答弁

産業振興・観光振興

◆観光資源としての布良地域への取り組みは？

問 館山市の観光の観点から布良地域をどのように位置づけているのか。

(室 厚美議員)

答 富崎地区は、かつてマグロはえ縄漁や安房節の発祥の地として栄えました。阿由戸の浜は、房総開拓の神忌部氏が上陸した地といわれる海岸でもあり、日本の近代絵画の発展に大きな影響を与えた青木繁氏が描いた、国指定重要文化財である「海の幸」の舞台となっています。

さらに「海の幸」の制作のために滞在した、館山市指定有形文化財の小谷家住宅があり、相浜漁港、布良漁港や布良崎神社などを周遊できるようにウォーキングコースを設定し、案内表示板24基の設置を行ったところです。

また、富崎地区の住民の方々とNPO法人などが、青木繁氏の功績を称えるとともに、小谷家住宅の保存を中心とし、積極的に活動されてお

り、このような市民の盛り上がり、富崎地区の振興に最も重要な要素であり、まさに官民一体となった取り組みが行われているところです。

このように、富崎地区には重要な観光資源があり、地域の皆様とともに今後とも積極的に活用していきたいと考えています。



マグロはえ縄船・安房節発祥の地の碑

◆農水産業の振興は？

問 豊かな発想や相談体制の充実を図り、知識や経済的な支援機能を兼ね備えた総合ワンストップ窓口の開設について問う。(瀬能孝夫議員)

答 農業については、平成20年3月に千葉県、J A安

房、館山市農業委員会、館山市から成る館山市担い手育成総合支援協議会を設立し、農水産課に農業経営に関するあらゆる相談に対する窓口を設置し、支援体制を整えました。

特に新規就農に関しては、農地の取得や技術の習得、経営のノウハウなど、幅広い分野での問題を解決する必要があることから、各分野への窓口案内にとどまらず、関係機関との更なる連携強化により、就農してから経営が安定するまでの長期にわたる支援に努めています。

漁業については、千葉県が就業支援を目的に「館山地域漁業就業相談会」を開催しており、館山市もこれに協力しています。

問 農地集積バンクに関して、本市の活用状況及び、耕作放棄地対策について問う。(瀬能孝夫議員)

答 館山市では、これまでも農業委員会を通じて農地の貸し借りを実施しています。が、昨年度から国の新たな施策として実施している「農地中間管理事業」を中心に農地の集積を進めています。

この制度は「農地中間管理機構」が農家から農地を一時的に借り受け、担い手農家に貸し付ける仕組みで、遊休農地の活用、農地の集積化による大規模経営が可能となることなどの効果が期待されています。

なお、11月末日現在、農地中間管理事業の実績としては、9件、約4ヘクタールの貸借契約が成立しています。

また、耕作放棄地対策としては、農地中間管理事業に加え、現在、中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払交付金制度の有効活用、人・農地プラン作成推進など集落単位での活動を通じて耕作放棄地の発生防止に取り組んでいます。

◆映画・ドラマ等のロケの誘致は？

問 館山市におけるフィルムコミッションの現状と課題について問う。(石井敏宏議員)

答 フィルムコミッションの平成26年度における制作会社等からの受付件数は51件で、その内25件について撮影が行われました。その代表例として、映画「エイプリル

フールズ」が沖ノ島で、また、TBS放送のドラマ「Nのために」が船形漁港で撮影されました。

平成27年度は、12月1日の時点で、制作会社からの受付件数が31件で、その内16件について撮影が行われています。

その代表例として、フジテレビのドラマ「南くんの恋人」が城山公園や館山神社、渚の駅たてやまなどで撮影され、現在も放映中ですが、撮影に当たっては、館山市も最大限の協力をしました。

これらのほかにも、旅番組で温泉や魚介料理店などが紹介されるとともに、ドラマの舞台になるなど、多くの撮影が市内で行われ、館山市の知名度がますます上がっています。

これからも多くの番組などの撮影をしていただき、再度、「南くんの恋人」のような映画などの舞台として選んでいただくため、ロケの支援をさらに充実させるとともに、館山市の優れた観光資源について、テレビメディアなどを通じて情報発信していきます。

◆平砂浦の活性化は？

問 平砂浦は魅力を出せる地域なので、もっとアピールが必要と思うがどうか。

(鈴木正一議員)

答 平砂浦地域は、早春の菜の花や初夏のマリーゴールドが咲き誇り、日本の道100選にも選ばれている房総フラワーストレイン沿いに、館山ファミリーパークや道の駅南房パラダイス並びにアロハガーデンたてやまなど、館山を代表する観光資源が集中する、いわば館山市における観光の中心地の一つです。また、景色が非常に素晴らしく、走りやすいことから、サイクリストも数多く訪れています。

なお、平砂浦海岸はサーフィンも非常に盛んで、日本サーフィン連盟公認のサーフィン大会が毎年開催されるなど、南房総地域のサーフィンの拠点となっています。さらに近年、乗馬施設であるホーストレッキングパーク館山や「たてやま温泉 千里の風」が新たにオープンし、平砂浦地域の魅力がさらに高まっています。

今後、平砂浦地域のタイムリーな観光情報をメディア

に取り上げてもらうなど、継続して積極的な情報発信を行っていきます。



平砂浦海岸の景色

◆海岸の利活用は？

問 安心・安全な館山の海水浴場の確保に関する条例で大きな効果があったと聞いているが、来年に向けての具体的な検討はしているのか。

(石井信重議員)

答 今年度、館山市では千葉県内では初めてとなる条例の制定、海水浴場監視監や関係機関との合同によるパトロールの実施、館山警察署による臨時交番の設置などにより、観光地としてのイメージアップなど、海・浜空間利用者のマナー向上を図ることができ、館山市に寄せられる

苦情件数も大幅に減少しました。

このことから、本条例制定の趣旨である、海水浴場に来て下さる方が安心して安全に楽しめる海・浜空間の形成に大きな効果があったと考えています。

今年度の結果を踏まえ、次年度以降の取り組みをより良いものとしていくため、関係機関による「安心・安全に館山の海を楽しむための会議」を開催し、今年度の夏期海水浴場の状況及び次年度に向けた課題について意見交換を行いました。

◆渚の駅たてやま商業施設棟は？

問 オープンして1年になるがその現状、成果等はどうか。

(石井信重議員)

答 1階のお土産品を扱う「海のマルシェたてやま」で販売している地元野菜は新鮮で価格も安い、また、2階の「館山なぎさ食堂」の料理は海鮮系を中心に、とてもおいしいとの評判を、渚の駅を訪れた観光客や市民から聞いています。

入込客数については、オープンした昨年11月4日からの

1年間で、「海のマルシェたてやま」が、約10万8千人、「館山なぎさ食堂」が、約6万1千人となっています。この入込客数はレジ打ちをした客数です。

なお両店舗の運営状況については順調であると聞いています。

渚の駅たてやま全体の運営については、「恋人の聖地」の1か所として「館山夕日栈橋」を選定した中で、12月に渚の駅において「恋人の聖地」キックオフイベントとしてPR活動を行うとともに、「館山おさかな大使・さかなクン」を「渚の駅名譽駅長」に委嘱し、渚の博物館内に「さかなクンギャラリー」を開設するなどの取り組みを実施しています。

館山市としては、今後とも、商業施設棟を運営する「株式会社ろくや」と協働し、渚の駅たてやまへの更なる誘客を図り、海辺の賑わい空間の創出と地域経済の活性化を図っていききたいと考えています。

交通安全・防災対策

◆避難道路の修理は？

問 富崎地区の避難道路(市道6035号線)の一部が破損しているが、その現状と今後の対応について問う。

(内藤欽次議員)

答 現状は、道路の石積擁壁の老朽化により、路肩の一部が破損している状況です。既に、一部の区間の通行を規制して安全対策を行っていますが、簡易的な応急工事は通行の安全性が確保できないため、擁壁を含めた道路整備を考えています。

◆防犯灯の維持管理について

問 防犯灯の数と維持管理費についてのその後の調査結果はどうか。また、区費を圧迫している防犯灯の維持管理費は市の負担とすべきではないか。

(内藤欽次議員)

答 館山市町内会連合協議会の調査結果ですが、各町内会が管理する防犯灯数は、5073灯となっています。平成26年度の維持管理費は、約2690万円であり、その内訳は、電気代が約2070万円、修繕費が約620万円となっています。

また、防犯灯の維持管理費を市の負担とすべきではない

かについてですが、防犯灯の電気料金や維持管理費が町内会の大きな負担になっていることから、行政の負担へという要望があることは承知しており、その負担を軽減する方策を現在、検討しています。

教育問題・少子化対策

◆人口減少問題は？

問 館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、人口減少問題に対し具体的にどのように取り組もうとしているのか。(石井敬之議員)

答 これまでも、人口減少に歯止めをかけるために、「少子化対策」、「雇用の創出」、「移住・定住の促進」の3つの施策を柱として、取り組みを行ってきました。

これらの取り組みが、千葉県でトップの合計特殊出生率や高い水準で推移している有効求人倍率、『田舎暮らしの本』の「住みたい田舎ベストランキング」で館山市が上位に選ばれていることに結び付いていると考えています。

今後、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少問題に係る取り組みをさらに進めていきます。

また、若い世代が安心して、結婚・出産・子育てをすることができ環境づくりをさらに積極的に進め、子育て世代に選ばれる「まち」を目指し、平成22年度からの5か年で4回、千葉県でトップとなった合計特殊出生率をさらに上昇させていきたいと考えています。

◆子ども医療費の助成範囲の拡大は？

問 通院子ども医療費の助成範囲拡大は、子育て世代の経済的負担の軽減と子育て環境の充実に欠かせない制度であり、早期実現を望む声が多い。ぜひとも来年度予算に計上していただきたいと思うがどうか。(森 正一議員)

答 子ども医療費の助成は、子育て世代の経済的負担の軽減による支援の重要な施策であると認識しています。中学校3年生までの通院医療費の助成拡大については、財政状況を勘案して前向きに検討しているところです。

健康福祉・介護予防

◆超高齢化社会を迎えるにあ

たつての施策は？

問 首都圏を抱えて介護難民と言われる方の受け皿として介護士養成校の誘致などに取り組む考えはあるか。(石井敬之議員)

答 介護士養成校の誘致については、館山市においては、まず、介護人材を確保することが急務であると考えています。

現在、介護職員を養成するために、民間の事業所が、受講者を募って、介護職員初任者研修を実施しているところですが、介護人材の不足が叫ばれる中で、館山市としては、介護人材と介護施設等への雇用の確保を目的に、介護職員初任者研修課程に必要な経費等について、一部助成をしているところです。

◆かかりつけ医の取り組みは？

問 今後重要となる「かかりつけ医」の取り組みをどう進めるのか。(鈴木順子議員)

答 今後、館山市を含む安房地域の医療を維持して疾病の予防や早期発見を推進し、また、健康寿命を伸ばすためには、この「かかりつけ医」は特に重要であると考えています。

そのため、コミュニティ医療の推進というビジョンのもとで、かかりつけ医の必要性について積極的に各方面に働きかけているところです。

館山市としては、コミュニティ医療推進の取り組みの大きな柱として、日頃から「かかりつけ医」を持ち、自ら体調管理に努めてもらうよう、その重要性について啓発しているところであり、第4次館山市総合計画「前期基本計画」にも盛り込んだところです。

◆障害者の就労と地域農業の活性化は？

問 農業分野と福祉分野の「農福連携」による障害者の就労と地域農業の活性化の取り組みについて問う。(龍崎 滋議員)

答 安房地域において「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づく就労継続支援を行っている11事業所のうち、館山市内の2事業所と南房総市内の1事業所が農作物の生産を行っています。

また、こうした就労支援事業所での農作物の生産以外に、就労支援事業所の利用者が農家の作業員として働く、いわゆる「施設外就労」に取り組んでいる事業所も1事業所あります。

館山市としては、農福連携に関する国の動向等を注視しながら、館山市地域自立支援協議会などを活用して紹介するなどして、農業分野への就労支援事業所の参入を促進していきたいと考えています。

◆ABC検診の受診状況は？

問 平成26年度から導入しているが、その受診状況や結果のフィードバックの状況はどうか。また、今後は希望者全員が受診できるようにすべしと考えるがどうか。(森 正一議員)

答 館山市では平成26年度から試験的に、採血による検査で判明したピロリ菌の感染の有無と、ピロリ菌による胃の萎縮の状況から、胃がんの発症リスクをA・B・C群に分類するためのABC検診を実施しています。

平成26年度のABC検診の結果としては、116人が受診し、内視鏡による切除可能な早期胃がんの方を2名発見しました。今後は、ABC検診受診後

の検診体制を作り、現在実施しているバリウムによる胃がん検診や胃の内視鏡検査と併せて、新しい胃がん検診の体制を整え、より多くの市民が胃がん検診を受診することにより、胃がんを早期に発見することが重要な課題であると考えています。

館山市の施策

◆ふるさと納税は？

問 ふるさとチョイスの有効活用についてどう考えているのか。(室 厚美議員)

答 「ふるさとチョイス」は、全国の自治体のふるさと納税の特典と使い道を集めたポータルサイトで、私も他市の取り組み等に興味をもつて閲覧しています。

館山市でも、平成27年4月から「ふるさとチョイス」を導入したこと等に伴い、寄附者の利便性が図られ、受入件数が大幅に増加しています。「ふるさとチョイス」には、申込み方法の簡便化だけでなく、ふるさと納税制度を通じて、産業振興、観光促進、移住定住、災害時即時資金調達支援など地域の課題解決に向けた方法を提案する様々なメ

ニューが用意されていますので、今後も費用対効果を勘案し、活用方法について検討していきたいと考えます。

◆下水道事業の縮小は？

問 下水道事業計画の縮小に至る背景とその理由について問う。(鈴木順子議員)

答 平成26年1月に国土交通省、農林水産省及び環境省の3省統一で策定された「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」において、平成36年度までの整備完了を目指した、効率的で適正な処理区域を設定するよう指導がありました。

館山市の下水道事業の全体計画区域は1197ヘクタールで、平成26年度末現在、185ヘクタールの整備が完了しております。残り全ての区域について、整備を平成36年度までに完了させることは困難であると判断したことから、計画区域の縮小をすることとしました。

◆市民からの口頭での要望の対応は？

問 市民からの口頭での要望があった場合、氏名、連絡

先等を確認し、文書に記録して適切な対応を図るべきと思うがどうか。(石井敏宏議員)

答 具体的な事案は分かりませんが、文書によるものでもあろうと、また、口頭によるものであろうと、市民からのご要望に対しては、その内容により、必要に応じて記録するなどしながら、適切に対応しているところです。

◆館山市まち・ひと・しごと総合戦略の基本目標は？

問 ふるさとへの誇りアツプの取り組みに示される、官民・広域連携によるまちづくりの推進は、どのような施策を推進するのか。(龍崎 滋議員)

答 市民のニーズが複雑化し、かつ多様化する中、地域が抱える様々な課題を解決するためには、その現状や特性をより認識している市民や地域団体・NPOなど、地域で活動する多様な主体との連携強化が必要不可欠です。

館山市では、観光や移住・定住を中心に、市民・NPOなどと行政との連携による事業が進められてきましたが、人口減少・少子高齢化の進行を見据え、さらなる多様な連

携・協働体制を構築し、イベント等での賑わいの創出、防災・防犯活動、地域の支え合い活動など、市民や地域団体・NPOなどと行政が一体となり、「協働のまちづくり」を進めていきます。

また、地域に共通する課題を解決し、地方創生を進め、人口減少を克服するために、国・千葉県及び近隣市町と連携した、広域的な視点による取り組みを推進します。

◆マイナンバーについては？

問 マイナンバーの申請時に、一人暮らしやアクセスが悪い場合は誰が対応するのか。また個人番号カードは申請しなくても問題はないのか。(鈴木正一議員)

答 個人番号カードの申請は、原則として本人が申請することとなりますが、通知カードに添付されている個人番号カード交付申請書を同封の封筒で郵送することにより申請する方法、スマートフォンや自宅のパソコンから申請する方法、市内に設置されているマイナンバー対応の証明写真真機から申請する方法があります。

また、個人番号カードは、本人の申請により交付することとされており、カードの取得は義務ではありません。館山市では10月30日からは、玄関ロビーの一角にマイナンバー相談コーナーを設置し、市民からのマイナンバーに関する相談に対応していきます。

今後もマイナンバー制度の円滑な実施に向けて努めていきます。



庁舎玄関脇のマイナンバー相談コーナー

委員会の視察等
各委員会で行った行政視察等について、主なものをお知らせします。

平成27年10月14～16日 文教民生委員会行政視察(富山)

県氷見市・石川県白山市・能美市・金沢市) Ⅱ 廃校の利活用事業、地域包括ケア病棟(公立つるぎ病院)、子育て支援サービス事業、日本版CCRC(シェア金沢)

平成27年10月19日～21日 建設経済委員会行政視察(宮崎県宮崎市・日南市・都城市) Ⅱ 渚の交番、インターネットを利用した働き方の指南、テナントミックスサポート事業、日南市の地元本格焼酎による乾杯を推進する条例、飼肥空家利用対策、飼肥食歩歩き・町あるき、6次産業化推進事業

平成27年10月26日～28日 総務委員会行政視察(佐賀県武雄市・福岡県久留米市・八女市) Ⅱ フェイスブックを活用した情報発信について、セーフコミュニティ国際認証都市、女性消防団員の活用、道の駅くるめ(防災拠点としての機能)、議会基本条例の運用状況

本市への視察訪問

平成27年11月10日 秋田県北秋田市の議員が「地産地消

推進事業・渚の駅たてやま」視察のため来館しました。

平成27年11月10日 広島県呉市の議員が「放課後児童健全育成事業における業務委託化」視察のため来館しました。

平成27年11月11日 長崎県南島原市の議員が「富津館山道の事業化・地産地消推進事業」視察のため来館しました。

平成27年11月18日 大分県竹田市の議員が「地産地消推進事業」視察のため来館しました。

平成27年11月24日～25日 静岡県下田市の議員が「渚の駅たてやま・食のまちづくり」視察のため来館しました。

平成27年11月11日 千葉県議会の議員OBが「渚の駅たてやま」視察のため来館しました。

議員研修の実施

千葉県南市議会議長会議員研修会

千葉県南市議会議長会主催の議員研修会が1月15日に鴨川市民会館で開催され、東京大学名誉教授の大森彌氏を講師に「人口減少に立ち向かう―地方創生の課題」と題して講演をしていただき、千葉県南部13市の議員及び議会事務局職員約300名が熱心に聴講しました。

◆安房3市1町議会議長会議員研修会

安房3市1町議会議長会主催の議員研修会が11月9日に南房総市役所で開催され、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局主査の中原一成氏を講師に「地方創生をめぐる最新の動きについて」と題して講演をしていただき、安房3市1町の議員及び議会事務局職員約70名が聴講し、また活発な質疑応答が行われました。

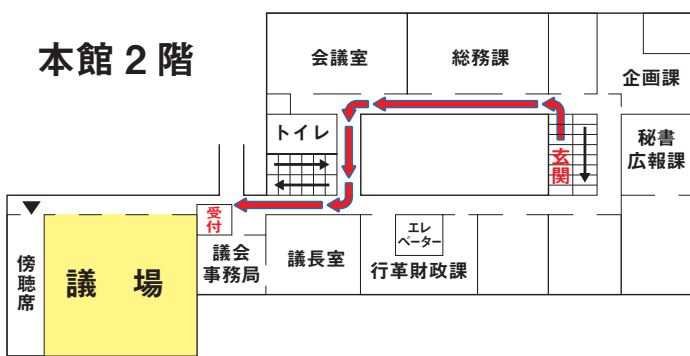
市議会を傍聴しませんか!

本会議の傍聴手続きは、希望する当日に議会事務局(市役所本館2階)前で用紙に住所、氏名等を記載するだけです。(委員会の場合は事前に連

絡をお願いします。)

また、本会議を開いている時は、インターネットで、本会議の生中継を配信していますので、ご利用ください。(館山市のホームページからご覧になれます。)

議場の場所は左図のとおりです。(市役所本館2階)



会議録の検索・閲覧

12月定例会及び委員会の会議録は、2月中旬にホームページから検索・閲覧ができます。

また、従来どおりの会議録も、図書館で閲覧ができます。

表紙の写真について

平成28年成人式が1月10日に千葉県南総文化ホールを会場として行われました。

当日は、風もなく、穏やかな晴天の中、参加対象者のうち、80・00パーセントに当たる342名が参加しました。

館山市議会の榎本議長も新成人に対して祝辞を述べ、新しい門出を祝いました。

次の定例会の予定

- 開会日: 2月26日(金)午前10時から
●一般質問: 3月2日(水)、3日(木) 予備日:4日(金) 各日それぞれ午前10時から
●請願・陳情提出締切: 2月19日(金) 正午まで

平成27年第3回臨時会提出議案議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第69号	平成27年度館山市一般会計補正予算（第4号）	原案可決 全会一致

付託委員会（付託なし）

平成27年12月定例会提出議案等議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第70号	館山市公告式条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第71号	館山市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第72号	館山市市税条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第73号	館山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	原案可決 賛成多数
議案第74号	館山市基本構想を定めることについて	原案可決 全会一致
議案第75号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決 全会一致
議案第76号	市道路線の認定及び廃止について	原案可決 全会一致
議案第77号	平成27年度館山市一般会計補正予算（第5号）	原案可決 全会一致
議案第78号	平成27年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致
議案第79号	平成27年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決 全会一致
議案第80号	平成27年度館山市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致
議案第81号	平成27年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致
議案第82号	館山市教育委員会委員の任命について	原案同意 賛成多数
発議案第10号	館山市内の文化財の維持・保存制度の拡充を求める決議について	原案可決 全会一致
発議案第11号	教職員定数の充実のための予算確保に関する意見書について	原案可決 全会一致
請願第4号	鶴ヶ谷八幡神社に消火栓の整備を求める請願書	採 択 全会一致
請願第5号	防犯灯の維持・管理費の補助を求める請願書	継続審査 賛成多数

付託委員会（総務 文教民生 建設経済 決算審査特別 付託なし）

議案ごとの賛否（館山市議会基本条例の規定による）

議員名	榎本祐三	室厚美	石井敏宏	森正一	瀬能孝夫	望月昇	石井敬之	太田浩	龍崎滋	今井義明	石井信重	本多成年	鈴木正一	内藤欽次	福岡信治	吉田惠年	本橋亮一	鈴木順子
議案第73号	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
議案第82号		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
請願第5号		×	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	×	○	×	×	○	○

※請願第5号については継続審査とすることの賛否です。

編集後記

皆様、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、館山市議会基本条例の施行やそれに伴う第1回議会報告会の開催など、議会としてはこれまでにない大きな動きのある年でした。

今回の議会報告会は委員会ごとに取り上げた重要な議案等に対する説明が主でしたが、会場では市民の方から、率直な質問や、市政に対する貴重なご意見等も多く伺うことができました。今後、これらの意見を参考に、議会からの政策提言や政策立案に生かしてまいりたいと思います。

また、12月の議会では館山市の基本構想が館山市議会基本条例の規定により議決されました。

平成28年度から、この基本構想とそれを踏まえた基本計画による館山市総合計画が実行に移されます。（龍崎 滋）

議会報編集委員会

◎委員長 ○副委員長

◎鈴木正一 ○石井敬之

龍崎 滋 石井信重

議会や議会だよりに関するご意見、ご質問等は議会事務局まで電話又はメール（番号及びアドレスは表紙参照）でご連絡ください。